♫♩

・・・・音楽のよろこび・・・・・

Apr 23. 2018

＊…京都市交響楽団メンバーによる大人の音楽教室…　今年度第1回"ヴィオラ"開講しました。

"そのステキな時間を、すこし、皆様にも・・・"

ヴァイオリンより、すこし大きめ、チェロより、ちょうど1オクターブ上の音域をもつ"ヴィオラ"この日は、27才から京響でヴィオラ奏者として長年、活躍されて来た金本洋子さんの、お話と演奏で、ステキな時間をすごしたのです。彼女といっしょに、この時間をつくっていただいたのは、ピアニストの佐竹裕介さんでした。

■ 金本さんは、京響での演奏はもとより、新京都クァルテット、アンサンブルリベルタのメンバーとして、それ以外にも様々な所で活躍されています。♪

■ 昨年も、来ていただき、ヴィオラの楽器の"つくり"を中まで見せて…教えて下さったり、楽しいヴィオラジョークで受講者は大笑いしたり、落ちついた音色と、すばらしい、テクニックを要する曲をタップリ聴かせていただいたのでした。

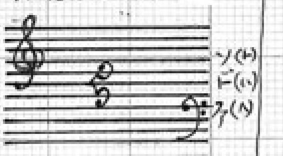
𝄞 受講者の拍手でむかえられた御二人は、まず、♪バルトークのルーマニア民族舞曲よりの2曲を演奏、この曲は、ヴァイオリンとの音色のちがいを感じるためだったのです。

𝄞 そして…お話がはじまったのです。

- 昨年とはちがう楽器（ファゴット、チューバ、コントラバス、バストロンボーン）を含む、年10回の講座であること、
- 10回は、それぞれちがう演奏者が来るが、音楽について異なる意見を、いわれるかもしれない、しかし、それでいいのです。音楽には正解はない‼のです。その時々や、空気感、合奏相手の音程など、生演奏では、（特に合奏では）相手に寄りそったり…という事で、演奏はかわるもの……etc.

■ 第1回のという事で、すこし音楽用語や基礎のおはなしを……

その1. 音部記号
- ト音記号
- ハ音 〃 ＜ アルト記号 / テナー 〃
- ヘ音 〃



※ピアノは𝄞と𝄢で記譜です、ピアニストは「ハ音記号は苦手？らしい…とか。
オーケストラのスコア（総譜）は指揮者が見てつかう。……

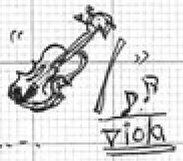
𝄞 ト音記号　フルート、トランペット　ヴァイオリン
オーボエ

𝄞と𝄢 ヘ音記号　オルガン　ピアノ

𝄢 ……　チェロ　ファゴット、トロンボーン（バス）、コントラバス
チューバ

𝄡 ハ音記号 ……　ヴィオラ

※高い音域では
（ヴィオラは𝄞もつかう
チェロは𝄡も𝄞〃
ファゴット 〃 つかう）



その2.「度」について

𝅝𝅝　𝅝𝅝
一度　二度……となる。八度はオクターブ（ex. ド〜ド）　ex.（ド〜ソ）は5度、等々……

その3. 拍子について

C＝4/4 1小節に♩が4つ…♩♩♩♩　¢＝2/2 1小節に𝅗𝅥が2つ……𝅗𝅥𝅗𝅥　6/8 ♫♫ → これを場合によって ♫♫♫ と考える

「ヘミオラ」といいます ← ギリシア語

etc.、

その4. 移調楽器について…略します、

■ オーケストラのおはなし…　京響は定員87名　1人やめると1人補充というシステム（アキなき場合名人でも入れません）

入団するためにはオーディションに受からないとダメ♪ ex. トロンボーン1人とるのに100人、まず金管の人が聴く、一次なると全員で聴く

ヴィオラの場合でも、まず、コンチェルトと、オーケストラスタディを弾く

シュターミッツのコンチェルトとオケスタ……　佐竹（ピアニスト）は大変苦労するんです♪♪　全部はムリ、切られるのです。

オケスタはよく何の弾き分けとか、弓のつかい方が的確かどうかなどをみる、聴くのです。OKなら2次へ、5、6曲ひいてもらい全員で〇×で決めるのです、各楽器の首席を決める時は、更にコンチェルトの数曲をやってもらうのです。

キビシイもんやねぇ。

15才の時、（神童ですね）　1966年

■ そして、後半は…そのシュターミッツのヴィオラコンチェルトの一楽章を演奏されたのでした。メンデルスゾーンのヴィオラソナタハ短調はメンデルスゾーンの少年期の作品で、比較的最近発見された曲、そして途中、ピアノのすばらしいソリスティックな所があって、佐竹さんのピアノに受講者は、ウットリ…ため息となったのでした。金本さんが、佐竹さんに、この曲を提案された時、二つ返事でOKだったとか、よくこの曲はピアニストに、ことわられるのにです……。よかったですね、金本さん、そしてもちろん私達にとっても……。クリスティアンバッハのコンチェルトもタンノウして、アンコール曲は、昨年「キカセテ‼」の声に「来年やりましょう」となっていた、P・カザルスの「鳥のうた」…最後のピアノのトレモロが消えるように鳴り、数秒の静寂……そして大きな大きな拍手がおこったのでした。受講者の皆様のため息と満足気な笑顔、そしてパパになられたという佐竹さんへも大きな拍手がわき、暖かいふんいきの内に終了したのでした。　次回はフルート、楽しみですね〜。